



家庭と学校が手をつなぎ子どものために

釜戸中学校長 間宮 弘一

先日は、PTAの授業参観、情報モラル教育講演会、学年懇談会、並びに各委員会と多くの方にご参加いただきありがとうございました。多くの保護者が参加され、子どもたちのために、保護者として子どもや学校を精一杯支えようという温かい気持ち、我が子の成長や安全のためにしっかり話を聞き、講演から学ぼうとされる姿から子育てに対する熱い思いが伝わってきました。今年度は、PTA活動方針の2に「共に学び共に考え高め合おう 学校行事・地域教育への積極的な参加」があり、母親委員会を中心に、親さんが「共に学ぶ」ことを大切にしたPTA活動の充実＝家庭教育の充実を進めていて下さり、その親さんの姿勢が、今の素晴らしい釜戸中の子ども達を育てているのだと感謝いたします。

今回の酒井先生の講演会では、最新の情報をもとに、「子どもに話しかける」「子どもの連絡相手・内容を知る」「最新の情報を学ぼうとする」ことを教えていただきました。特に、大人が食事中に携帯に触る、携帯を持ちながら子どもと話すなど、親や大人の携帯等の使い方が子どものお手本になっているか、まず、私たちが自分を振り返り、改めることが子どもを育て、子どもを守ることに繋がると学びました。今、子どもに必要なのは、使い方を親や大人が姿で示すことです。そして、フィルタリング100%のPTA活動に取り組むことではないでしょうか。最近、本校でも親さんが知らない間にフェイスブックやツイッター、SNS等、インターネット上に中学生が書き込みをしているという話を耳にします。過去には、書き込んだことがもとでよくない噂になって広がってしまった悲しい事件もありました。親の責任を考え、開放的になる夏休みを前に取り組みましょう。

さて、本日の全校朝会で、「夏休み一研究・一課題」の取り組みについて話をしました。38日間の長い休みなので、『自分がやりたいことに思いっきり挑戦しよう』と話をしました。私が中学生のころ「ゲルマラジオ」からスタートし、オーディオに興味をもち、世界の名器と呼ばれるスピーカーのミニチュアの制作に挑戦した「JBLのパラゴン」の話、娘のために作った「ディズニーのテーブルセット」を紹介しました。

大切なことは、次の3つです。

- ①本当にやりたいこと・頑張りたいことに取り組む
- ②先生とよく相談して、実行可能な計画を立てる
- ③夏休み前に必要な材料や道具を家族でそろえる



ディズニーのテーブルセット

そして、粘り強く、根気よく取り組みましょう。3年生は、「苦手教科の勉強法」を研究してもよいと思います。本当にやりたいこと、自分のためになることに挑戦してください。1・2年生は、自分がやっているスポーツや趣味のことでもいいです。作品募集には副賞として海外旅行がついてくるものもあります。やるからには入賞するものを創り上げましょう。先生も、市で入賞するには、県で入賞するためにはどうしたらよいかアドバイスをします。夏休みが終わって、「夏休み一研究・一課題発表会」で、本当に自分が自慢できる研究・作品が見せられるといいですね。夏休みまで、あと1ヶ月。学習も研究も、しっかり準備して迎えましょう。ご家庭でも応援よろしくお願ひします。